

ヴァチカン、中国政府に司教叙階の自由を要求

問題は台湾ではなく、宗教の自由

数日前までヴァチカンと中国は、ほとんど外交関係を樹立する寸前の所まで来ていた。その問題の中心は、中国政府が、中国政府の意見を求めるにしても、ヴァチカンが自ら示す候補者を任命する権利を認めたことにあった。それは「政府公認教会」がカトリック教会に組み込まれる道筋を立てるためであった。しかしながら、頑固なスターリン主義者によって支配されている「愛国協会」は、この約束を破り教皇庁が承認していない二人の司教を任命したのである。国際世論の圧力で北京は態度を緩める様子を示し、数日後ローマの同意の下に一人の司教を任命した。しかし、愛国協会は翻意したわけではなく、別に20人の不法な任命を予告している。

中国とヴァチカンの間にある障害は台湾ではない。聖座は台湾と外交関係を保っている25の国の一つである。しかし、台湾には宗教の自由があり、聖座は北京で大使館を開くことが出来るならば、台湾では大使館を閉め別の形で外交関係を続ける方法を模索している。北京に大使館を置くことは、同国の信者の踏みにじられている基本的人権を擁護するためにきわめて重要なステップである。不法な司教任命の後、「聖座は、教会とカトリックの宗教団体の権威者たちの自由と自治が（中国において）いかなる外部からの干渉も受けない権利を持っていることを強調している」とヴァチカンの広報官ホアキン・ナパロ・バルスは言った。

この任命を巡る非難にもかかわらず、ヴァチカンは対話の姿勢を崩さず、「両者の正当な要求を満足させるような解決を模索するために、中国当局との誠実で建設的な会話を続ける」用意のあることを伝えた。共産主義政権との関係はここ数年めざましい改善が見られ、この前進が無に帰したわけではない。初めてのことだが、北京の方からヴァチカンとの外交関係を樹立する可能性がほのめかされた。とは言っても、司教や司祭、修道者たちの逮捕や、「再教育」のための監禁、謎の不良グループによる殴り込みなどが時々起こっていることには変わりがない。

スターリン主義者の隠れ家

北京にとってもローマとの関係修繕は避けては通れない現実の問題である。愛国協会は毛沢東の時代に、カトリック教会に代わって共産党が信者をコントロールする組織として創設された。今日では最も頑迷なスターリン主義者の最後の砦となっている（[ACEPRENSA 132/05](#)）。しかし、同時に地下教会と公認教会との差は消滅しつつある。「『愛国』と呼ばれる教会の司教の85%が教皇と和解している。信者たちは、どの司教、どの司祭がローマと結ばれていて、誰が結ばれていないかをしっかり見極めている。「公認教会」が4～500万人の信者を持つならば、ローマと結ばれている教会には1000～1200万人の信者がいる。

愛国協会の中樞は、副会長であり広報官を務める Liu Bainian によって指導されているが、ここ数年両者のいかなる接近をも破壊しようとする試みで注目を浴びている。2000年には、12人の不法な司教の任命を断行した。そのうち7人は聖座の反対を知って辞退した。残りについては、彼らが圧力を受けたことはほぼ間違いない。いろいろな情報筋によると、このような圧力が今回の司教任命にも見られたと言う。「教会法」によれば、教皇の承認なく司教を叙階

した司教と、その叙階を受けた者は、どちらも破門される。共産党の党员なら、破門されることに関しては特別な心配を示さないだろうが、自分たちの司教座聖堂には信者が寄りつかないことは自覚している。

愛国協会は手を緩めることなく、近いうちに20人の不法な叙階を予告した。しかし、状況が最悪で修繕不可能に見えるところに来たとき、北京政府はローマの承認を得ていた一人の新しい司教を任命に踏み切った。

この係争は、現在世界に向けて開かれた国のイメージを発信しようとしている中国当局にとって極めて害のあるものである。とりわけオリンピック開催を控えた今、一層重要な問題となっている。アメリカ合衆国のヴァチカン駐在大使 Francis Rooney は「我が国は、中国での二人の不法な司教の任命に関して聖座が出した声明を重要視する」と、この点についてワシントンが全面的にヴァチカンを支持する旨を伝えた。

ヨーロッパ議会で中国に関する報告の発表の際、イタリア人の Antonio Tajani 欧州議員は、保守派グループを代表して、「一国が司教を任命することは受け入れられない」と宣言し、社会党グループからは Pasqualina Napoletano もその主張に賛意を示した。ただ、彼女の派閥としては、中国が「ダライラマを排斥している」事の方がより憂慮すべき問題と考えると釘を刺してはいるが。

(ACEPRENSA 53/06 : 10-16 - V - 2006)